こうざえもんつうしん
講左衛門通信
平成26年2月23日
第16号

発行　天台宗忍草山東円寺
〒401－0511
南都留郡忍野村忍草38
☎ 0555－84－4114

『今日は、大我講の話をすることになっておったのう。まずは、富士講について話をしないと分からんかな？クニマッスン、富士講の開祖は誰か知っておるか？』

『もちろんでまっすん。長谷川角行（はせがわかくぎょう）でまっすん。それから富士講で有名人は、食行身禄（しょくじきみろく）でまっすん。』

『本当にクニマッスンは勉強しておるのう。さて、富士講については、多くの学者や郷土史研究の方々が書籍を出版しておるんじゃが、不思議なことに大我講の記述がほとんどないと言っても過言ではないんじゃ。長谷川角行から始まった富士講の年表があるんじゃが、その年表に大我講の名前は載ってないんじゃ。しかも、千数百人もの大講中だったんじゃ。不思議じゃろ。』

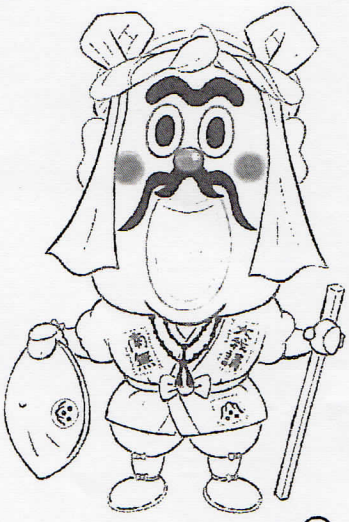
『大寄友右衛門さんは、大我講の大先達でまっすん。富士講でなければなんでまっすん。』

『大我講は、東叡山寛永寺から認められた特殊な講中なんじゃよ。天保14年、大我講という講が認可された年、江戸幕府は富士講禁止令を出しておる。江戸に富士講信者が多くなりすぎて、この講中が現在でいう、デモを起こすかもしれないと不安に思ったんじゃな。そこで、富士講禁止令を出して、取り締まりをしたということじゃ。そんな中で、大我講が認可された理由は、人々の救済であり、角行系列の富士講とは違っていたのかもしれんな。大我講が結成された当初の名簿が、東円寺に残されておるんじゃ。講中名簿には、700名ほどの名前が記されておる。多くは、市川大門（現在の市川三郷町）や身延方面の方じゃ。残念なことは、その方々が、どのように忍野八海を巡礼したのか？現在、そのルートや方法が分かっておらんのじゃ。しかし、大我講は関東一円に広がったんじゃよ。現在の立派な東円寺の庫裏は、大我講の講中によって造られたんじゃよ。東円寺庫裏寄付者名簿が残されておってな、その名簿を見ると、市川大門や身延の方々の名前もあるんじゃが、奥多摩や埼玉県の方々の名前があるんじゃよ。』

『大我講は、そんなに広まったでまっすん。きっと、忍野八海が魅力的なところだからでまっすん。だけど、知られていないことが多いでまっすん。これからどうしたらいいでまっすん。』

『明治の廃仏毀釈によって、富士信仰は衰退してしまったんじゃ。愁えていても時間がもったいないぞ。時間が経てば経つほど、過去は忘れ去られてしまうからのう・・今、すべきことは、分かっていることを未来に伝え残すこと、そして、調査することじゃ。今なら間に合うこともあると思っておる。次回は、大我講は、多くの石碑を残しておるんじゃ。石碑の残っている場所や、なぜ石碑が建てられたのかについて、話をしようかのう。』

『楽しみにしているでまっすん。』



クニマッスン
出生地　忍野村
山梨県水産技術センター
口癖　でまっすん‥

富士大我講左衛門（ふじのだいがこうざえもん）　年齢不詳
職業　大我講の先達（せんだつ）
（先達とは富士山案内責任者）

『講左衛門通信』は、第2・第4日曜日に発行予定